



キルギス共和国
経済産業省の投資促進庁

ダイジェスト

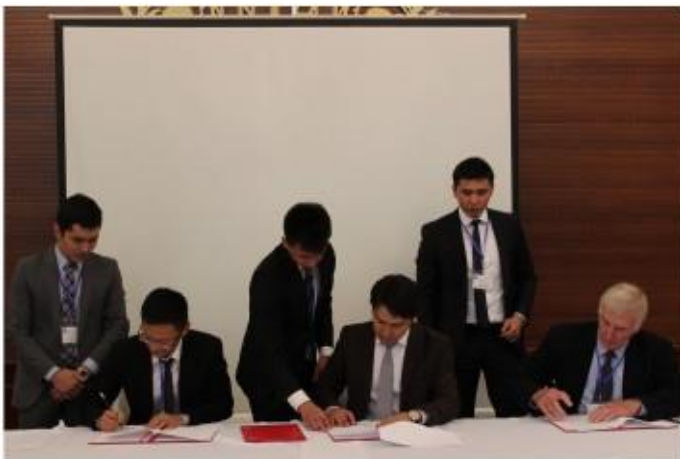
2014年10月13-21日

キルギス投資促進庁の公式オープニング

10月20日にパークホテルの会議ホールでキルギス共和国経済産業省の投資促進庁の公式オープニングが行われました。

投資促進庁の設立の決定書は2014年3月18日に署名されました。

投資促進庁は、外国投資家に対する投資誘致、コンサルティング、支援、アフターケアなどを目的として、政府機関、地方自治体、ビジネスコミュニティと非政府組織との共同で創設されました。



開会式では（投資促進庁と）業界団体、大手投資会社や開発パートナーが協力覚書を締結しました。

開会式時に経済産業大臣 Temir Sariiev、ドイツ大使 Gurdun Srega、議員 Zamir Bekboev や投資促進庁の長官 Almaz Sazbakov が演説しました。

Almaz Sazbakovは、投資促進庁についてのプレゼンテーションを行い、近い将来の目標、課題とこれからの計画について語りました。



Temir Sariev: 投資促進庁はキルギスの投資環境向上に重要な機関

投資促進庁の開会式でTemir Sarievはジュネーブの世界投資フォーラムの参加について語りました。フォーラムではグローバルに国際投資を誘致することに関する喫緊の課題や最新の動向が議論されました。



外国投資の国際投資額は2012年の低迷後、再び増加し始め、流入金額は1.45兆ドルに増加しました。すべての国が世界投資の流れの中で正当な地位を占めるように互いに競争する、そしてキルギスも例外ではありません。

この課題は、今日、特に重要になっています。持続可能な開発の国家戦略の枠内で、今後5年間の経済成長の「機関車」として、78の主要な投資プロジェクト、総投資金額74億ドルを推進する予定です。これらのプロジェクトの資金調達については、53%をキルギスで調達、残りのプロジェクトの資金調達不足分は、35億ドルの範囲（47%）と推定していると経済産業大臣が述べました。



国内民間事業では、まだ必要な金融・技術・人材が揃っていません。国家予算には民間経済活性化のための資金も殆どありません。したがってキルギスは海外からの直接投資によって持続可能な開発を目指します。

しかし、近年の海外直接投資は、流出傾向にありました。理由は明白で、主要な問題は、ローカルレベルでの安定性の欠如でした。投資家は自分でその問題を解決しています。

T. Sariev は投資促進庁の設立はキルギス投資環境向上にとり最も重要な役割を期待すると述べました。これからキルギスに来る投資家は、ビジネスの開業における立法機関、法的事項について総合的な信頼性の高い情報のサポートを得ることができる場所になります。国内起業家は現在のビジネスのプロジェクトやパートナーになりうる投資家に関する情報を取得できます。国家レベルでの大規模な投資プロジェクトを組成する場合には行政支援を得られます。



「経済産業省は、この投資促進庁を設立するために多大な努力をしてきました。我々はここで働く若くて優秀な人材に期待しています。ここの専門家の給与は大企業や商業銀行の上級従業員の賃金より低くありません。ビジネスコミュニティと開発パートナーの代表者で構成された委員会が、公募でスタッフを選抜した」と Sariev は説明しました。

投資促進庁のプレゼンテーション



長官Almaz Sazbakovは、投資促進庁のミッション、目標、組織及び方向についてプレゼンテーションしました。

「かつて、キルギスでは、多くの場合、投資家は、完全な、高品質で信頼性の高い情報を入手することができませんでした。この問題の原因は、関係者の協調努力、統一的なアプローチと外国の起業家に必要な支援を提供する責任機関の欠如でした。そのため政府機関は投資家が市場に参入しようとする時に、そのプロセスを複雑にさせ遅らせるなど理解が不足していました。これはビジネスにとっては、時間とお金の追加費用でした。これらの問題を解決するためキルギス共和国経済産業省の投資促進庁が誕生しました。投資促進庁のタスクは、投資を誘致するだけでなく、国の幸福を達成することです。」と Sazbakov は述べました。

投資促進庁とパートナーの覚書の署名

開会式では投資促進庁と国際ビジネス評議会、ビシケクビジネスクラブ、青年起業家協会、商工会議所、ビジネスコミュニティのナショナル・アライアンス、中国エンジニアリング(SAMS)、キルギス日本人材開発センター(KRJC, JICA)、AmCham、DRAMLA および Crown Agents Ltd コンサルティング会社間の協力覚書の署名が行われました。



これらの覚書の調印は非常に重要です。それは当事者の今後の活動が、キルギス共和国の持続可能な経済発展を促進するために包括的相互協力の組織化、国際的な経済システムへの統合、市場関係の近代的なインフラ形成、すべての事業活動および貿易、経済、科学技術関係の発展につながるからです。

両当事者は、外国の既存および新パートナーとビジネスコンタクトを通じて、キルギス経済に投資を誘致し、効率・効果的な利用を協力支援します。

また、外国経済代表団、財界とミッションの代表者と合同会議を開催し、相互に有益な、信頼できるパートナーの発掘とビジネスコンタクトの確立を支援します。

国際的なパートナーとの連携を強化して外国直接投資の誘致における情報コンサルティングサービスを支援します。

ビジネス情報交換の場としてのビジネスミーティング、セミナー、フォーラムや円卓会議など、国内外で開催する予定です。

